

2年「育てたいやさいは何？」 教科書P10～P14		(3時間扱い→2時間で実施)
教科書	教師の手立て	期待する児童の反応
1時間目P10～P12 ポイント1→ (「野菜」についての話題提示をし、「育てたい野菜調べ」へとつなぐ)	問1 好きな野菜は何ですか ・カードで示す 問2 育てたことのある野菜はありますか ・カードで示す 問3 育ててみたい野菜はありますか ・カードで示す	(挙手) ・キュウリ・トマト・ナス (挙手) ・トマト…。 (挙手) ・トマト、キュウリ…。
ポイント2→ (「育てたい野菜」の資料を提示し、関心を高める)	問4 2年生のあるクラスで、育てたい「やさい」を調べたら、こんな結果がでました。 ・カード化した「野菜名」を教科書のように、黒板にランダムに貼っていく。	(意識) ・いろいろあるな ・〇〇が多いようだ
ポイント3→ (「育てたい野菜」の様子の大要をとらえ、追求意欲を高めさせていく)	問5 このクラスのみんが、どんな野菜を育てたいのでしょうか。 ・キュウリという考えが多いみたいですですね。 問6 このクラスの「育てたいやさい」の様子がはっきりわかるためには、どんなことを調べればよいですか。	(意識) ・キュウリが多いようだ (頷き) ・同意する様子 (発言) ・育てたいやさいの種類がわかればいい ・やさいの種類とその人数がわかればいい
ポイント4→ (「育てたいやさいの種類や人数をわかりやすく表す課題を設定し、解決への見通しを持たせていく)	問7 育てたいやさいの種類や人数がすぐにわかるように表すには、どうすればよいかな	(発言) ・やさいの種類ごとに、何人が作りたいたのか調べて、わかりやすく表せばいい
ポイント5→ (解決の方向性をもって、取組を始めさせる)	問8 それぞれの野菜の種類ごとの人数を調べてみましょう。 ・何種類のやさいがあるかな	(意識) ・仲間分けしてみよう ・5種類ありそうだ ・やっぱり5種類あった

	<p>・「トマト」「キュウリ」「ナス」「ピーマン」「オクラ」の5つの種類でよいですか。</p>	<p>(頷き・挙手) ・そうです。(同意)</p>
<p>ポイント 6→ (他児の考えを読解し、「グラフ」と「表」の表現へとつないでいく)</p>	<p>問 9 それぞれの人数を調べるのに、 ・みなとさんはどうしようとしていますか ・かえでさんはどうしようしていますか</p>	<p>(発言) ・種類ごとの人数を、○印で表している ・種類ごとの人数を数えて、数字で表している</p>
<p>ポイント 7→ (「グラフ」と「表」の作成への見通しと活動への意欲を高める)</p>	<p>問 9 みなとさんやかえでさんのように種類ごとの人数を○であらわしたり、数であらわしたりしてしらべられるかな</p> <p>※板書と同じもの(写真等)のランダムに並んだ野菜カードのワークシートを配布する。</p>	<p>(意識) ・できそうだ ・やってみよう</p> <p>(数学的活動) ・ワークシートに書き込む</p>
<p>ポイント 8→ (「グラフ」を読み取らせ、「わかること」を表現させる)</p>	<p>問 9 ○で人数を表したみなとさんは、このようなものを作り上げました。 ・これを見て、どんなことがわかりますか</p>	<p>(発言) ・「キュウリ」が一番多い ・「ピーマン」が一番少ないなど…。</p>
	<p>問 10 ○であらわしたもので、一番多いものは、「キュウリ」でよいですか。 なぜそういえますか。</p>	<p>(頷き・挙手) ・よいです。 (発言) ・一番○の数が多いから ・○でならんだものが一番高いから</p>
<p>ポイント 9→ (「グラフ」から読み取った事項をもとに、順位をとらえさせる)</p>	<p>問 11 人数が多い順に、言えますか。 ・「キュウリ」「オクラ」「トマト」「ナス」「ピーマン」の順になっている。でよいですか。</p>	<p>(発言) ・「キュウリ」「オクラ」…。 (頷き・挙手) ・よいです。</p>

<p>ポイント 10→ (「グラフ」をもとに、項目ごとの数量を読み取り、「表」の作成につなぐ。他児の考えの読解と補完)</p> <p>ポイント 11→ (「グラフ」と「表」を関連づけて、表現させていることの異同に着目させる)</p> <p>ポイント 12→ (「グラフ」と「表」の違いを判断させる→それぞれの特徴を理解させる)</p> <p>ポイント 13→ (「グラフ」と「表」のそれぞれのよさについて思考・判断・表現させていく)</p>	<p>・このように数を○で表して数の大きさを比べるものを「グラフ」といいます。</p> <p>問 12 かえでさんは、このようなものを作ろうとしています。みなとさんのグラフを見て、かえでさんの作ろうとしているものを完成させましょう。</p> <p>・「ナス」「ピーマン」「オクラ」の数を「グラフ」から読み取り、数字を書き入れる。</p> <p>問 12「グラフ」の結果と同じですか。</p> <p>問 13 みなとさんが作った「グラフ」と同じものですか。違うものですか。どちらかに挙手してください。</p> <p>・どんな違いがありますか。違いは何ですか。</p> <p>・○の大きさで数の大きさを表して比べているのが「グラフ」、かえでさんが作ったのは、数字で数の大きさを表しているのですね。</p> <p>・このように数字で、種類ごとの数の大きさが比べられるように表したものを「表」といいます。</p> <p>問 14「はるさん」と「ゆきさん」が調べようとしていることは、「グラフ」と「表」のどちらをみたら、すぐに分かりやすいですか。</p>	<p>(意識)</p> <p>・「グラフ」というんだ。聞いたことがある・</p> <p>・知っているよ</p> <p>(数学的活動)</p> <p>・「ナス」→4人</p> <p>・「ピーマン」→3人</p> <p>・「オクラ」→6人</p> <p>(頷き・挙手)</p> <p>・同じです。</p> <p>(挙手)</p> <p>・同じです。(少)</p> <p>・違います。(多)</p> <p>(発言)</p> <p>・みなとさんの「グラフ」→○の数だけ人数を表している。○の高さで人数が比べられる。</p> <p>・かえでさん→数字で人数(数の大きさ)を表している。</p> <p>(意識・確認)</p> <p>・「グラフ」と「表」の違いが分かった。</p> <p>・「一番おおいやさしい」は、キュウリ</p> <p>→<u>グラフ</u> (一目で長い、高い)</p> <p>・「オクラを育てたい人の人数」は、6人</p> <p>→<u>表</u>に書いている数字を見るとはやい</p>
--	--	--

<p>ポイント 14→ (「グラフ」の「数の大きさの違い」のわかりやすさに着目させて、「グラフ」のよさをとらえさせていく)</p>	<p>→それぞれのよさを比較</p> <p>問 15 「数の大きさの違い」がすぐにわかるのは、「グラフ」と「表」のどちらですか。どちらかに挙手してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフでよいですか 	<p>(挙手)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グラフ (多) ・よいです。(頷き判断)
<p>ポイント 15→ (「グラフ」での「項目ごとの数量の大小比較の方法について捉えさせていく)</p>	<p>問 16 グラフのどこをみれば、数の大きさの違いがわかりますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○を数を数えなくてもわかるのですか。 ・グラフに並べた○の高さで、数の違いが分かりやすいのですね。 	<p>(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○の数 ・○の並んだ高さ ・○の高さ(長さ)を見るだけで、数えなくても大きさの違いがわかる ・はい(頷き判断)
<p>ポイント 16→ (「グラフ」と「表」のそれぞれの「分かりやすさ」のわかりやすさから、よさを選択させ、その根拠を表現させる)</p>	<p>問 17 「数」がすぐにわかるのは、「表」と「グラフ」どちらですか。どちらかに手をあげましょう。</p> <p>なぜですか。</p> <p>問 18 「グラフ」と「表」のそれぞれの表し方で、わかりやすいものに違いがあるということでしょうか</p>	<p>(挙手判断)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表(多数) <p>(発言)</p> <p>→数字をみれば、数がわかるから</p> <p>(頷き判断)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よいです
<p>ポイント 13→ (学習を振り返り、「グラフ」と「表」の特徴と「よさ」の違いを確認させる)</p>	<p>問 19 今日の勉強をまとめましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の課題の「育てたいやさいの種類や人数がすぐにわかるように表すには、どうすればよいか」について、どんなものが見つかりましたか <p>→「グラフ」や「表」でしたね</p>	<p>(ノート記述)</p> <p>【まとめ】育てたいやさいの種類や人数がすぐにわかるように表すに</p>

<p>ポイント 14→ (「グラフ」と「表」のそれぞれの「よさ」を言語化し、確認させる)</p> <p>ポイント 15→ (学習の振り返りを行わせる。)</p>	<p>・「グラフ」や「表」のいいところはどんなところでしたか。 ・わかったことをノートに書きましょう。</p> <p>→「グラフ」は、多い・少ないといった数の違いが分かりやすい →「表」は、数がいくつあるのかすぐにわかる。(ひと目でわかる) でしたね。(板書で確認)</p> <p>問 20 このクラスでは、他にもいろいろなことを調べて、「グラフ」や「表」に表しているようです。次の時間に、どんなことがいえるかみつけてみましょう。(次時へのつなぎ)</p> <p>問1 昨日、どんな勉強をしましたか。 ・「グラフ」や「表」のつくり方や読み取り方がわかりましたね。 問2 それぞれの「いいところ」はどんなところでしたか。 ・「グラフ」→数の大きさの違いが○の高さでわかる ・「表」→数の違いが、数字でわかる ですよいか・</p>	<p>は</p> <p>・人数を○であらわして並べ、その高さで比べる方法(グラフ)→人数の違いがすぐにわかる ・人数の数を数字であらわして並べて、数の大きさを比べる(表)→それぞれの人数がすぐにわかる</p> <p>・はい。</p> <p>(発言) ・表やグラフの表し方やその違いが分かりました。 (前日のノートのまとめで確認) (左参照) ・よいです。</p>
--	---	--

<p>P 13 ※2 時間目</p> <p>ポイント 1→ (教材となる「しょうかい」ポスターを提示し、学習への意欲を高める)</p> <p>ポイント 2→ (「すきな給食しらべ」を読み取らせる。「同じ高さ」は、「同じ数」であることを確認させる。)</p> <p>ポイント 3→ (「グラフ」から、項目ごとの人数の差を読み取らせる。)</p>	<p>問3 今日、ある学校の2年1組が、作った「2年1組しょうかい」のポスターをみて、どんなことが書かれていますか。 ・「すきなしょうじょく調べ」「生まれた月調べ」「すきな遊び調べ」でよいですか。</p> <p>※それぞれのポスターを見て、どんなことがわかるか、読み取っていきましょう。</p> <p>問4 「すきな給食しらべ」を見て、次のことをノートに書きましょう。 ① 一番すきな人数が多いのは →「カレー」 ② 1番すきな人数が少ないのは →「シチュー」 ③ 2番目にすきな人数が多いのは、 →「ハンバーグ」 ③ 3番目にすきな人数が多いのは、 →「あげパン」と「スパゲティ」 <u>※同じ人数であることを押さえる。</u></p> <p>・好きな人数が1番多いものと2番目のものとの「人数の違い」は、 →2人</p>	<p>(頷き・挙手で確認) ・よいです。</p> <p>(ノートへの記述・発言・確認) ・問①～④についてノートに分かったことを書き、確認し合う。 ・よいです。(挙手) ・よいです。(挙手) ・よいです。(挙手) ・よいです。(挙手) ※「同じ高さ」→「同数である」ことについて、確認する。</p>
---	--	---

<p>ポイント4→ (「グラフ」から、項目ごとの人数の差を読み取る方法をとらえさせ、確認する)</p>	<p>問6 本当に2人ですか? 「グラフ」のどこを見て、わかるのですか。 →「カレー」と「ハンバーグ」の○の数を数えて、その違いをみればいいのですか。 →数の違いは、○の高さを比べて、その違いの○の数をみればいいのですね。</p> <p>→○の高さの違いに着目させる。 ・数の違いは、グラフを使えば、数えなくてもわかるのですか。</p>	<p>(発言) ・だって、<u>人数を数えて</u>、カレーは8人、ハンバーグは6人だから、8-6で、2人だから(数えた) ・<u>人数を調べなくても</u>、○の数の高さの違いをみれば、すぐに2人とわかるよ(○の高さの違い) (頷き判断) ・そうです。</p> <p>(発言) ・数の違いは、グラフを使うとわかりやすいです。</p>
<p>ポイント5→ (「うまれた月」調べへの興味を高めながら、月ごとの人数を読み取らせていく)</p>	<p>問7 「生まれた月」しらべで次の①～⑤について調べましょう。 ①一番多い月は、 →9月(5人) ②一番少ない月は、 →6月(0人) ③自分と同じ月に生まれた人数は、 →指で個別に表させる。 ④4月生まれと5月生まれの人数の違いは、 →1人</p>	<p>(発言・確認) →9月(5人) →6月(0人) (指で表現) →1人</p>
<p>ポイント6→ (調査全体の人数をとらえる方法を考えさせる)</p>	<p>⑤このクラスの人気は、どうすればわかるかな →全部の○の数を数えてみよう →25人</p>	<p>(発言) ・○の数を全部数える ・○の数を数える ・25人だ。</p>

<p>ポイント7→ (これまでの学習を「好きな遊び」しらべで活用させる)</p> <p>ポイント8→ (絵に描かれている情報を読み取り、あてはまる語句や数字をいれさせていく)</p> <p>ポイント9→ (7月生まれの子が言っている「2人違うから大丈夫」という根拠を探らせ、表現させていく)</p> <p>ポイント10→ (「2人違うから大丈夫」という7月生まれの人数が11月生まれに抜かれた理由を読み取らせる)</p>	<p>問8 このグラフで、他にわかることを、3つ見つけましょう。 (省略→板書して、全員で確認しあう)</p> <p>問9 「好きなあそびしらべ」で、「わかる」ことを、3つ書いて、発表しましょう。 (省略→板書をもとに、全員で確認し合う)</p> <p>問10 P14の「ふりかえろ」を見て、□に入る数字を入れましょう。 ※1コマ目の「7月」と3コマ目の「2人」を、隠して提示し、そこに入る言葉を考えさせる。</p> <p>問11「転校生がきても、2人違うから大丈夫」ということは、本当ですか。なぜそんなことが言えるのかな、 →1番の7月生まれと、2番目の11月生まれの人数の違いが2人いるから でよいですか。</p> <p>問12 最後に「11月」生まれが一番多くなったのは、なぜですか。 →転校生が、3兄弟だったということ でよいですか。</p>	<p>(略) それぞれの根拠を確かめさせる。</p> <p>(発言例) ・一番多い遊びは、「ボールあそび」で8人 ・一番少ないのは、「てっぽう」と「一輪車」で5人 など、</p> <p>(発言) ・1コマ目の□は、7月 ・3コマ目の□は、2人</p> <p>(思考・判断・表現) ・一番多い7月と二番目に多い11月の違いは、2人だから、転校生が1人来ても7月の、一番は、変わらないから (頷き判断) ・よいです。</p> <p>(発言) ・転校生が、3人きたので、7月が11月に抜かれたから。(差が2人だった)</p>
--	---	---

<p>ポイント 11→ (学習したことを発展・習熟させる)</p> <p>ポイント 12→ (「グラフ」作成するときの大切な事項【1つ分の○の大きさは同じ大きさにする】について確認させる)</p>	<p>問 13 「たしかめよう」の問題に取り組みましょう。 くだもの数を調べて「表」やグラフに表しましょう。</p> <p>問 14 「表」や「グラフ」をみて、①と②の問題に答えましょう。 ①→りんご 9 こ ②→みかん 6 こ</p> <p>問 15 次の問題に答えましょう。 ※教科書朱書き編※ 「つまずきやすい問題」に取り組ませる。</p> <p>※1つ分の○の大きさが揃っていないと、高さで数を比べられないことを、具体例をもとに実感・納得させる。</p>	<p>・(略)</p> <p>(略)</p>
--	---	------------------------